

ご意見数：8件（4人）

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>43ページ 子どもの遊び場づくり</p> <p>一関市には子どもを遊ばせる場所がほとんどない。幼児期から高校生に至るまですべての年代において、身体を動かして楽しく遊べる場所がない。花巻のおもちゃ美術館、遠野のTOMOKKなどのように、近隣の地域からも人が来るような施設、住んでみたいと思える魅力的な施設を作ってほしい。子どもが思いっきり体を動かして笑顔になる場所を作ることが一番大切なことだと思う。</p>	<p>屋内型の遊び場の整備については、既存施設の利活用を基本とし、令和3年度に花と泉の公園内に、ボルダリングや砂場遊びができる室内型公園「キッズランドモーリー」を整備しております。子どもの遊び場については、計画の中で「季節や天候によらず安全に遊べる場所の充実を図るとともに、市内で子ども連れで安心して遊べる場の情報を発信します」としており、いただいたご意見は、今後の遊び場づくり検討の際の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>43ページ 子どもの遊び場づくり</p> <p>山形県天童市にある子育て未来館げんキッズのような、屋内で子どもが元気いっぱい遊べる施設を作ってほしい。NEC跡地などアクセスしやすい場所にと期待している。</p>	<p>屋内型の遊び場の整備については、既存施設の利活用を基本とし、令和3年度に花と泉の公園内に、ボルダリングや砂場遊びができる室内型公園「キッズランドモーリー」を整備しております。子どもの遊び場については、計画の中で「季節や天候によらず安全に遊べる場所の充実を図るとともに、市内で子ども連れで安心して遊べる場の情報を発信します」としており、いただいたご意見は、今後の遊び場づくり検討の際の参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	<p>32ページ 切れ目なく子育てを支えるまち</p> <p>休日の赤ちゃんの駅(オムツ交換、授乳室、ミルクのお湯)の協力店舗を増やしてほしい。赤ちゃんの駅理解のためのPRの強化と赤ちゃんの駅検索地図入りアプリを制作してほしい。</p> <p>ダイドードリンコとベビー用紙おむつ自動販売機の協定を結び、市内の道の駅だითう(予定)、かわさき、むろね、巖美に自販機を設置してほしい。</p> <p>開業が古い道の駅に子供用トイレの改築補助導入。</p> <p>物価高による給食無償化による負担軽減。</p> <p>こどもが車に乗る時に、スマホやタブレットで定額動画サービスを利用している。県道一関大東線19号新狭山トンネル、国道343号猿沢トンネルと鷲ヶ森トンネルのトンネル内部が圏外で動画再生ができないため、安定して視聴できるようにしてほしい。</p> <p>43ページ こどもの遊び場づくり</p> <p>県南一関NEC跡地にアクセス抜群の一関駅直結に猛暑時、雪や雨の悪天候の室内遊び場施設と子供の遊び場を見守りながら親同士が交流できるオシャレなカフェ的なお店を一関と岩手県と共同で整備して仙台方面の流出対策をしてほしい。県南の人は、盛岡よりもこどもの遊び場があり買い物が一緒にできる仙台に行く傾向がある。</p> <p>44ページ 結婚する若者への支援</p> <p>おでかけサポ一関の日程やサポ入会補助を広報やFMあすもで若者に広くPRして、結婚増で少子化に歯止めをかける対策、FMあすもで婚活番組やコーナーを制作して婚活情報やイベントなどの支援策のPR。</p>	<p>赤ちゃんの駅は令和7年2月末時点で市内102か所に設置しており、設置場所については市ホームページやいちのせき子育てガイドブックに掲載し、広く周知しています。いただいたご意見は、今後の赤ちゃんの駅事業の検討の際の参考とさせていただきます。</p> <p>令和4年5月9日以降の道の駅登録駅には、赤ちゃん用おむつのばら売り販売が必須となっており、令和7年4月オープンの「道の駅だითう」では自動販売機の設置を予定しております。必須となる以前に整備した道の駅への設置は行っておりませんが、いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>道の駅の登録要件では、こども用トイレの設置が必須ではなく整備しておりませんが、いただいたご意見は、今後の機能改善検討の際の参考とさせていただきます。なお、4月オープンの「道の駅だითう」には、24時間使用できるこども用トイレを設置しております。</p> <p>給食の質を維持しつつ、物価高騰の影響が保護者負担に転嫁されることを最小限にするため、私立保育所等へは支援金の交付、公立保育所等へは物価高騰分を市の財源で補填し、価格を据え置いております。また、学校給食においても、国の交付金や市の財源で補填をし、保護者の負担軽減を図ってきたところです。国や他市町村の動向を注視しながら、今後も保護者の負担軽減を図ってまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>一ノ関駅東口工場跡地の利活用の検討については、令和7年度において、市による土地利用全体の開発コンセプトの決定、管理運営法人による開発事業者の募集など、具体的な土地利用の検討を進める予定です。これまでも当該跡地に全天候型のこどもの遊び場の整備を求めるご意見をいただいております。今後の土地利用検討の際の参考とさせていただきます。</p> <p>市の婚活事業は、FMあすもの「おはよう市役所」などでお知らせしております。“いきいき岩手”結婚サポートセンターが実施する「おでかけサポ一関」の日程の周知等については、センターと連携しながら進めてまいります。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
4	32ページ 切れ目なく子育てを支えるまち チャイルドシート、ジュニアシート購入補助。	いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	43ページ こどもの遊び場づくり 大東図書館の道路を挟んだところにある砂利駐車場で、足元が悪いためこどもが転んで手を擦りむいた事があった。駐車場の舗装をしてほしい。なぎさ号側の階段も一部壊れている所もあり危険だと思った。	大東図書館の道路を挟んだ駐車場は、借用地であり、現在、舗装することは難しい状況です。階段の一部破損箇所については、必要な修繕はしてきたところですが老朽化によるところが大きくその対策については引き続き対応してまいります。
6	33ページ 質の高い教育 都市部の子供に比べ地方の子供はお金に関する知識や判断力＝「金融リテラシー」を学ぶ機会が少ないので幼い頃から学んで機会増やしてほしい。 ・お小遣いの無駄使い防止、労働→給料→生活などの社会の仕組み、金融教育(社会おけるモノやサービスお金流れや社会仕組み、正しい金融投資イデコ、新NISAで老後資金大切さ)。 ・スマホ教育、正しい使い方やイジメや事件に巻き込まれない対策。 ・幼児向け性教育、プライベートゾーンの大切さを使えるワークショップ、親子で学ぶ教育。	金融教育は、金融や財政の仕組みと家庭生活とのかかわりについての概要を義務教育で学ぶこととなっているため、租税教室や公民の授業などで実施しております。 スマホ教室は、情報モラル教育や道徳等の授業で実施しており、「居間8、居間9ポスター」により啓発を行い、事故の未然防止への取組を行っているところです。 プライベートゾーンの大切さについては、思春期講演会を開催し、助産師等による講話を行っております。幼児向け性教育については、ご意見として伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	43ページ こどもの遊び場づくり 山田町の道の駅おいすたに遊びに行った時、道の駅の敷地内に遊び場がありとても良いと思ったので、「道の駅だいたう」でも外に遊具を設置してほしい。	「道の駅だいたう」は、道の駅の整備要件において、駐車場の広さやトイレの規模などから、屋外に遊具を設置することが難しい状況です。施設内には、キッズコーナーを設けておりますので、天候に左右されずご利用いただけます。
8	32ページ 奨学金の貸与について 若者が結婚したがる理由の一つに「長期に渡る奨学金の支払い」というのが大きな社会問題になっている。結婚の障害となるような学生ローンは無くして、給付型の奨学金を推進していただきたい。  40ページ みんなの食堂支援事業について みんなの食堂やこども食堂を支援するのではなく、利用しなくてはならない子供達の貧困や親の貧困を無くすためにどうするか？にシフトチェンジした施策をお願いしたい。一関市には子ども食堂など要らないくらい、みんなが幸せな家庭で育っているという事が一番の自慢だと思う。	奨学金は返還いただいた奨学金を原資としており、給付型の奨学金は実施しておりませんが、市内に居住、勤務し、貸与型奨学金を返還している方に、職種などの制限はありますが、補助金(奨学金返還補助金)の交付を行っております。  みんなの食堂やこども食堂の支援については、地域の交流と居場所づくりを目的としております。貧困対策については、引き続き経済面に困難を抱えるこどもの実態把握に務め、必要な支援を行ってまいります。